

保育 おおさか

平成18年6月1日 第370号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

359人に感謝状

—平成18年度 総会報告—



大阪社会福祉指導センター

5階ホールで5月25日(木)平成18年度保育部会総会が開かれ、242人の出席者がありました。

武内茂子副部会長(保育士会会長)の司会で第一部総会が始まり、開会挨拶、

五年勤続職員感謝状贈呈、大阪府「育児相談員」認定証授与、来賓挨拶、来賓紹介、主催者紹介と万事つづがなく終了しました。

永野治男保育部会長は、開会挨拶で「昨年度は一時

花園に咲く花の如く

子どもを育てたい

—フレーベル—



春の叙勲
瑞宝双光章
奥田 貴代子

(白ばら保育園施設長)



育児相談認定証の授与式

を受け、代表して河内プロック八尾市の久宝まぶね保育園、島内久美子さんが、大阪府の飯尾児童家庭室長から認定証を受け取りました。続いて議事に入り、平成17年度事業報告、同年度収支決算書、監査結果の報告が行なわれ、平成18年度事業計画・予算の承認をもって休憩。

第二部記念講演は、東京成徳短期大学、幼児教育科寺田清美助教授が「認定子ども園と今後の保育の動向」と題して講演され、自らも永年保育に携わり、培われた経験からタイムリーな話

題を楽しく分かりやすく話されました。

寺田助教授は、大阪では保育園が地域の子育て支援を積極的にこなしているの、さらに保育園の活動をPRすることが大切であり、すべての子どもに対し、一貫した保育・子育て環境の創造が必要になっていると強調されました。

また、寺田助教授がとりくみを進めておられる「赤ちゃん」と小中学生のふれあい授業」の意義について、「少子化で一人っ子が増えていますが、そういった子ども、1年間にわたって赤ちゃんといふれあい、初めてふれる赤ちゃんにとまどいながらも、その成長や発達を見ながら楽しさを感じていきます。そして、自分がどうだったか、親との会話も出てきて、自己肯定感も生まれます。また、自分の小さい頃にあふれる事で虐待も防げるのではないのでしょうか」と話されました。(事務局)

記念講演の詳細は2面参照

—記念講演—

「認定子ども園と今後の保育の動向」

(地域の中で子ども中心にしたふれあい施設を)

……愛されたことの無い子どもは愛せない

etc



今年の春は、例年よりも雨の日が多く、肌寒い日が続いています。が、大和葛城

山のつつじの花も満開になったという新聞報道もあり、やっと春らしさが出てきました。

春は、一年を通して一番生命力が満ちる季節でもあり、冬の間に低下していた代謝が活発となり、心も身体もいきいきとする。ということをもとに読みました。

冬の間に低下していた新陳代謝を促進してくれる食べ物という、春の山菜の苦味成分などで、身体にたまった毒素を排出してくれる効果があるようです。

また、成長点にある新芽や、若葉などは、たくさん

の生命力が詰まっています。忙しい日々を過ごしていて、自分の食生活や、我が家の娘の食生活について、

じっくりと考えたりする機会もあまりなかったのですが、山菜の苦味など、子どもが少し苦手とする食べ物の味を教えることも、

難しいことでもあります。成長の上で大切なことだと、改めて考えています。

(M・K)

記念講演

保育士歴26年

副園長を経て今、

— 幼児教育と赤ちゃんの関係 —

記念講演は、東京成徳短期大学幼児教育科寺田清美助教教授を講師に「認定こども園と今後の保育の動向」と題してご講演を頂きました。

抱かせてみると「赤ちゃんは、もっと軽いと思っていた」との感想だということでした。

■赤ちゃんから学ぶ

命の尊さ

まずはじめに、赤ちゃん人形を示され、抱いて体重を量ってみて下さいとのこと。何人かの参加者が予想して見るものの、なかなか当たらず。小学生に人形を



赤ちゃん人形

赤ちゃんに触れ合うことのほとんどない小学生に、この重さが命の重みで、大切な命なのだということ、同時に、赤ちゃんを揺さぶると、首の後ろの毛細血管が切れ、二度と元にもどらないなどの話をされるということでした。



寺田先生は、公立保育園で保育士歴26年、副園長を経て、大学で幼児教育の講義をされながら、「赤ちゃん」と小中学生とのふれあい授業」を各地で実践されています。実践の模様を、TBSのニュース番組で報道されたビデオを通して見せ

また、調査によると、9割もの母親が、わが子で初めて赤ちゃんを抱き世話をしたと答え、約3割が育児に対する不安を抱えたまま、

授業のなかで、赤ちゃんを見ている子どもたちの愛らしい目の輝き。おむつ交換を経験することにより、自分がどのようにして育てられたかに気付きます。目の前の命から、学ぶことは、たくさんあります。

■「認定こども園」で

どうなるのか

誰にも相談せず子育てをしているという現実の中、小中校生が赤ちゃんに触れ合っていることが虐待を防ぐ一つの手立てに繋がっていくのではないかと思います。講演を聴き早速に厚生労働省、文部科学省の指導のもと全国の学校で授業の一環として行われることが望まれる時代がそこまで来ていることを痛感しました。

その後、これからの幼児教育はどのようなものか、「認定こども園と今後の保育の動向」についての話に移りました。

保幼の機能を合わせた保育所幼稚園の合同施設幼保の一元化の見通しは、未定であるため、「認定こども園」へ公立幼稚園・公立保育園を中心に地方から移行が始まりますとのこと、なぜ、「認定こども園」は、



スタートしたのかについて話されました。近年の急速な少子化の進行による幼稚園の定員割れや家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い育児不安を持つ母親の子どもに対する支援。育児不安をもつ7割が専業主婦であり、0歳児から2歳児の約8割が支援を受けておらず、保育サービスの圧倒的不足が背景にみられます。

では、認定こども園の制度により、子どもや保護者にとって何がよくなるのか。まず、保護者の就労の有無に関わらず、継続して同一の施設を利用できたり、保育に欠ける子どもも、欠けない子どもも同じ施設で受け入れ、子どもの育ちに必要な規模の集団を確保で

■顔の見える支援を

最後に、こども子育て応援プラン、虐待予防のため赤ちゃん授業の推進を強調され、また保育者として大切にすること、遊びを通して保幼小の一貫性のある学びへ、保育園は以前から保育、教養を一体として実施していることを述べられ、「顔の見える支援を」と、話を結ばれました。

最後は、こども子育て応援プラン、虐待予防のため赤ちゃん授業の推進を強調され、また保育者として大切にすること、遊びを通して保幼小の一貫性のある学びへ、保育園は以前から保育、教養を一体として実施していることを述べられ、「顔の見える支援を」と、話を結ばれました。

講師の寺田助教

保育部会 研修だより —いちおし—

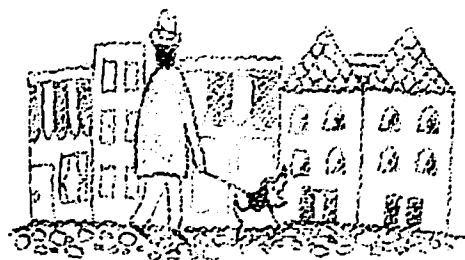
社会保険労務士による
「保育園における就業規則について」
—法改正と変更、定年延長—

平成18年6月19日(月)午後1時30分～4時30分、大阪社会福祉指導センター5Fホール(労務コンサルタント、竹田社会保険労務士事務所) 竹田孝司氏による講義です。

年齢による雇用延長、育児、介護休業など。「質疑応答」の時間もありますので、各園でお悩みの問題を具体的に解決することができそうです。

参加費3000円です。質問も一緒にFAXにて申し込み下さい。

FAX 06-6768-2426
(山元・木越・稲垣)



第三者評価受審に備え、必要な業務を文書化するセミナー(可能な限りA評価を得られるように構築していきます)全17回3週間に1度の開催

保育部会では、「保育サービス提供マニュアル機構セミナー」を開催することになりました。

これは、保育サービス第三者評価受審に備え、必要な業務を文書化するセミナー

で、受審結果の公表に向けて、可能な限りA評価を得られるように構築していきます。全17回コースで、3週間に1度の割合で開催し、受講者の持ち回りで宿題を作成し、すすめていきます。

講師は、安全・安心・リスクマネジメントの講演などで活躍されておられる高田一平さん(高田システムデザイン代表・立教大学大学院講師)にお願いしてお

ります。

セミナー料金は1施設あたり10万円で、1施設に2人までご参加いただけます。参加募集数は20施設(40人)を予定しております。

開催日は左記のとおりで、いずれも午後1時半～5時までです。

①6月27日(火)、②7月18日(火)、③8月7日(月)、④8月29日(火)、⑤9月19日(火)、⑥10月10日(火)、⑦10月30日(月)、⑧11月20日(月)、⑨12月11日(月)、平成19年⑩1月29日(月)、⑪2月19日(月)、⑫3月12日(月)、⑬4月4日(水)、⑭4月24日(火)、⑮5月14日(月)、⑯6月4日(月)、⑰6月21日(木)。

会場は大阪府社会福祉会館および、大阪社会福祉指導センターです。

毎日、新聞紙上で低学年の児童を対象とした事件の状況が報じられています。

各市町村において、違いがあるのが現状で矛盾が生じています。

小学校では、警備員の配置や、保護者の協力のもと、児童の安全確保に努められています。

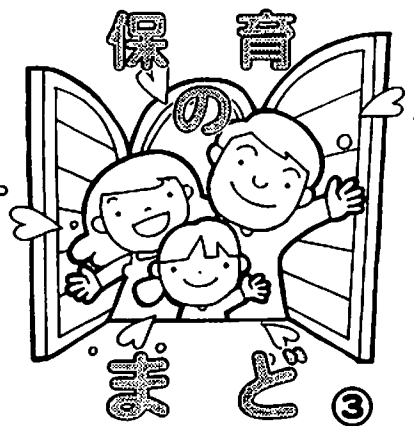
そのような中、昨年度から「安全・安心の保育園」に努められています。

我々、保育園の安全確保については、まだまだ置き去りの状態です。

各都道府県、各園に補助金が

付加されているところ、無

いところあるようですが、どこにいても、子どもたちが、安心して生活できることが必要です。



保育のまど —東大阪市—

—東大阪市—

クスが配信されています。

このようなことが多発する中で、園児の安全を確保するために、各保育園独自の、様々な対策が講じられています。

現在、東大阪市から子ども

の安全を確保するために、安全を講じなければなりません。

な回答はまだで、検討中とのことです。

登園、降園時の安全確保のため、園長、主任保育士が交代で門立ちを行ったり警備会社に出外の巡回を委託したり、シルバー人材センターと送迎時の車両整理目的として契約したり、と

物による防犯対策だけでなく、各園独自の人による防犯対策も行っております。

しかし、園児や保育士の安全確保には、やはり市の協力が必要不可欠ではないかと考えます。

これからもっと積極的に支援していただけるように市に要望し、市との協力体制のもと、より一層の安全確保に努めていきたいと思

います。

補助金の無い東大阪市では、園の自己負担で警備員を配置したり、カメラ付きインターホン、正門の自動ロック・防犯ブザー・防犯ミラー・さすまたの設置といった様々な防犯対策を講じています。

(S・N)

約1年かけて構築するもので、かなりボリュームのある内容となっておりますが、この研修で、よりよい保育サービスの提供につながっていくと考えております。よろしく願っています。

(事務局)

ブロックだよ

各ブロック後半の事業計画です

北摂ブロック(案)

3月 職員研修会
マナー、コミュニケーション

北大阪ブロック

1月中旬 第2回子育て支援研修会
その他随時会合を行う

河内ブロック(東大阪)

(事業部会計画)
2月初旬 スキー、スノーボード研修
(保育士研修)
1月 幼児保育

2月 保育実践力を高める
3月 保育士(主任、園長)

河内ブロック(八尾)

1月 保育士ボーリング大会
3月 新任職員研修会

堺ブロック

(園長研修)
2月20日 保育所における事故責任と対応(個人情報)の取り扱いについて
福岡弁護士

泉州ブロック

(保育士研修)
1月27日 内容、講師未定

保育園をたずねて

340

大東市

大東みのり保育園

昭和52年に設立された大東みのり保育園は、寝屋川、四條畷、門真市に隣接し、近くには徒歩で行ける深北緑地公園があり、保育園の周辺は住宅に囲まれた静かな環境に恵まれています。毎年5月には子どもたちに大人気の移動動物園が来ます。七面鳥、子牛、子馬、山羊など15種類の動物に触れたり、抱っこしたり餌を与えたりしながら楽しい一日を過ごし動物を通して優

しさや思いやりの心を感じられています。6月には4、5歳児の初めてのクッキング教室も予定され、日常生活から学んだ食を保護者の方々と共に楽しんでおられ、これから家庭的な雰囲気の中で、子どもたちの目の高さに合わせて伸び伸びと素直な子どもに成長していけるような保育をめざすと熱く語られました。

子どもたちは、すくもだちになれ
るのでしょうか!!
がふれあうからかな!!



保育士会総会と 記念講演

—泉州ブロック—



講師の石井恭子さん

泉州民間保育協議会保育士会の総会が、5月13日(土)、貝塚市福祉センターでおこなわれました。

武内茂子大阪府保育士会会長、田中正清泉州民間保育協議会会長からご祝辞をいただいたあと、17年度事業および決算報告、18年度事業計画および予算案の順で議事が進められ、満場一致で承認されました。

記念講演は、講師の石井恭子氏の「おかあさん」「叱られて」「ほたる」「茶摘」の独唱に始まり、そのあと「すばらしい歌声を聞かせよう」と童謡の歌い方のヒントと題して、発声の仕方と、「たなばたさま」保育士のうた「私たちがいるんです」の歌唱指導をしていただきました。お腹から声を出し、言葉がはつき

平成18年4月1日、淀川区に(福)陽気福祉会「明の守保育園」が産声をあげた。理事長は当保育部会副会長の門谷明さん。園名の「明の守」は、アキノモリと読むところもこだわりが伺える。大阪市という法人本部所在と異なる地での児童福祉施設となったが、条件さえ揃えばその地域のニーズにふさわしい施設を果たせるよう期待したい。



「明の守保育園」も大阪市内では11番目の保育部会会員としてスタートしている。建物は3階建て、60人定員で、園長は門谷一希さん。一日も早く地域にとけ込み、子育てのセンターとして役目を果たせるよう期待したい。



りわかるように口をしつかり開けて、笑顔でロツテンマイヤーの声をイメージしながら、たてむけに喉に負担のない歌い方が大切との

ことでした。石井先生の素晴らしい歌声が、今でも耳に残っています。(しいの実保育園 Y・U)



発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
永野 治
水崎 集
水崎 勝